

## 【Ⅱテモテへの手紙 2章】

「私の福音に言うとおりに、ダビデの子孫として生まれ、死者の中からよみがえったイエス・キリストを、いつも思っていなさい。」(Ⅱテモテ2:8)



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

## SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.3.17 No.728

今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。  
地よ。聞け。私の口のことばを。  
私のおしえは、雨のように下り、  
私のことばは、露のようにしたたる。  
若草の上の小雨のように。  
青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、

**栄光を私たちの神に帰せよ。**

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。  
主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32：1～4



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>

2月3月は年間中でも最も行事と派遣の多い月です。派遣に加わることによって、何年分かの神学校の学びをすることが出来ると教えられてきましたが、まさにその通りでした。自分のどこが弱い部分であるかを知らされ、その中で悔い改め、感謝と賛美をする時に働かれる神様の愛と憐れみに触れることが出来、なおなお神様の神学校、実践訓練を受けるチャンスとなります。

パウロは私達が神の兵卒としてパウロの苦しみを共にするようにと導いています。人生は旅です。観光旅行でも色々な問題が起こされてきますが、神様の使命を頂いた派遣や旅は楽しいことばかりではありません。私達が経験したことは、長崎、白馬、今回の広島派遣など26聖人が後ろ手に縄で縛られて殉教の旅をしたのとはかけ離れているかもしれませんが、しかしこの冷たい季節、強風も吹いている中、ふっと彼らの事を思わずにはいられないほどでした。

パウロが死を前に最後の言葉として、一番大切なことを愛するテモテに手紙の中で勧めた様に、神様が私達に「死者の中からよみがえった**イエス・キリストをいつも思っていなさい。**」と語りかけておられます。ダビデの子孫として救い主がお生まれになると語られた預言通り、神の子イエス・キリストはこの地上に降られました。この方以外に救いはありません。全人類の罪と呪いを身に受けられて十字架で死んで下さり、贖いのわざは完了しました。そして3日目に復活され、信じる者の中に聖霊として宿っておられます。

この方をいつも思う生活をするとは何がどう変わるのでしょうか？それは今までの自分中心の生活ではなく、主を恐れ主を愛し主に聞き従う生活をする中で、この土の器が神の働きをする聖霊の器と変えられ、感謝と賛美をもって礼拝する中で生ける神のみわざを体験していきます。これが福音です。それは神の働きを妨害し、神の愛に目を背けさせるサタンの働きを砕く力であり、いやしとしるしと不思議を経験し、道なき道が開けてくる世界です。派遣や神の働きに加わることによってそれが顕著に表れてきます。まさに人生の縮図です。ですから導かれた派遣や神の働きに加わることによって受ける恵みと学びは非常に大きいのです。

「恐れないで、語り続けなさい。～この町には私の民がたくさんいるから。」「小羊の血と自分たちのあかしのことばゆえに彼に打ち勝った。」「もし信じるなら、神の栄光を見る。」「大バビロンは倒れた。倒れた。」

主の兵卒として、生ける主の証し人として、イエス・キリストの福音をなおお語ってゆきましょう。優しい言葉で、よく教えよく忍び、反対する人たちにも柔和な心で訓戒できるように祈って参りましょう！

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。  
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。